茅ヶ崎の NPO と市民活動を支援する情報紙

Chigasaki Sapocen Newsletter

さぽせんニューズレター

2017 年
Vol.52

CONTENTS

特集「ちがさきサポセン☆ワイワイまつり 2017

／同時開催 イザ！カエルキャラバン！in ちがさき」

P.2～6　・・・ちがさきサポセン☆ワイワイまつり 2017

P.7　・・・もっと知りたい！サポセンのこと@2017 年２月～３月

P.8　・・・ちがさき市民活動サポートセンターからのお知らせ

2017.2.26(日)
10:00〜15:30

メイン会場　中央公園

サブ会場　ちがさき市民活動サポートセンター

81団体が参加・協力！

約8,000名来場

★ メイン会場

オープニング　〜トトトン　カッカ　ドーンドーン〜

穏やかに晴れ上がった茅ヶ崎の空に力強く響き渡る太鼓の音は、文教大学和太鼓部「楓」の演奏。
その音色に誘われるように、大勢の来賓の方をはじめ一般の観客が集まって、あっという間に観客席が埋まり、立ち見の方もたくさん。
益永代表、服部市長の挨拶と続き、再び「楓」の世界に。
今年も昨年に引き続き真っ赤なステージカー。
大学生スタッフ４人の司会でまつりがスタートしました！

ステージ　〜ゆるキャラも登場〜

参加 14 団体　和太鼓、オカリナ演奏、アフリカンダンスと太鼓演奏、おわら節の踊りと胡弓などの演奏、トマトとみかんのゆるキャラと一緒に食育体操、七福神おどり、ハワイアンコーラスとウクレレとフラダンス、手話ダンス、笑いヨガ、活動紹介、介助犬と聴導犬の実演、フォークを唄おうなど、それぞれエネルギーに満ちたパフォーマンスで魅せてくれました。常にいっぱいの観客席からも手拍子や歌声で盛り上げてくれました。

参加・協力団体一覧　＊50 音順

【市民活動団体】

アフメロックス / ｅｍｂ. / 医療生協かながわ・茅ヶ崎ブロック / NPO 法人ウェルフェアポート湘南 / 認定 NPO 法人 NPO サポートちがさき / MOA 茅ヶ崎健康生活ネットワーク / エルマー / 湘南オカリナ普及の会 / 神奈川県社会福祉士会 湘南東支部 / 神奈川ゆいまーるの会 / こども応援丸 / 三翠会 / サンチャイねぱるぱ / じゃおクラブ湘南 / 手話ダンス・フライングハンズ茅ヶ崎 / 精進料理 はな / 湘南おわら四季の会 / 湘南傾聴の会(湘南笑いヨガクラブ) / Team Aid for Japan~しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア / 湘南動物愛護会 / 認定 NPO 法人湘南ふじさわシニアネット / (社福)翔の会 / NPO 法人セカンドブックアーチ / 地域活動支援センター みらまーる / NPO 法人ちがけせんプロジェクト / 茅ヶ崎ヴォイス / NPO 法人茅ヶ崎演劇鑑賞会 / Chigasaki Cat's Protect / 茅ヶ崎郷土会 / 茅ヶ崎市視覚障害者福祉協会 / 茅ヶ崎七福神おどり隊 / 茅ヶ崎市聴覚障害者協会 / 茅ヶ崎ラグビースクール /NPO 法人地球の木・茅ヶ崎 / つなぎの会茅ヶ崎 / DIY アドバイザー神奈川 / 南湖やんべぇよ会 / ニッポン・アクティブライフ・クラブ湘南ブロック / Habitat 文教 Karon / ハウオリ with カナロア/ NPO 法人 paw pads / NPO 法人発達サポートネット バオバブの樹 / 筆記通訳サークル「虹」 / フォークを唄おう / NPO 法人フラワーセラピー研究会茅ヶ崎 / 文教大学 ATOM ぷろじぇくと / 文教大学 和太鼓部「楓」/

市民活動に触れることができる　お・ま・つ・り！

ちがさきサポセン☆ワイワイまつりは、茅ヶ崎をより良くしようとしている人・団体が一堂に集まり、「市民活動の楽しさ・おもしろさを多くの市民に伝え」「互いの活動を知り交流を深め」「力を合わせたまちづくりに取り組むきっかけにする」ことを目的に開催しています。市民活動団体を中心に、行政・企業・大学など様々な団体が連携・協力し、中央公園とサポセンの二つの会場で、様々な出会いと交流が生まれました。

テーマは「Let it go！」

安心して自分らしくいられる「居場所」が、まちの中にいろいろあると嬉しい。
誰かと出会って、笑ったり励まし合ったり、困りごとを解決したり夢の実現に向けてワクワクしたり。まつりに集う人たちが、それぞれの市民活動に込められた思いに触れて、新たに「自分らしい居場所づくり」を始められるように。とテーマに思いを込めました。当日は晴天に恵まれ、朝から大勢の方に来場いただき、大盛況。
来場者の方々にアットホームなまつりをお届けできたと思います。

受付・本部　～今年もボランティアスタッフに助けられました！～

来場者にパンフレットを渡しながら団体の出店場所やステージプログラムの案内、スタンプラリーの参加方法や景品交換所の説明、迷子や落とし物の対応と、一日中大忙し。気分が悪くなってしまった方には救護のベテランボランティアさんの迅速かつ適切な処置で大事に至らず。皆さんの働きに感

エコステーション　～周知されてきたエコステーション～

ワイワイまつりの伝統として参加団体さんが、積極的に参加・協力していただいているので、持ってきたゴミは要領良く分別され、次の担当者への引継ぎもスムーズに出来ました。また模擬店を中心に参加団体がゴミの自主回収をすることでゴミの減量化につながり、非常に助かりました。

応援サポーター『かにゃお』

県内のＮＰＯを応援するゆるキャラ「かにゃお」
まつりの応援団として大活躍！
公園内を歩けばみんなが寄ってくる“人気者♡”

【市民活動団体】
まなびの市民講師 有志の会 / Homehome Home(ほめほめほーむ) / NPO 法人マメポニ / 「山田耕筰」と「赤とんぼ」を愛する会 /NPO 法人ワーコレたんぽぽひろば
【企業】
あまざけなのか / GARA 中海岸フードトラック / きくやマルシェ / (有)スズキ企画 / 大衆割烹　みや川 / TESH CHIWAN / TONY'S Kitchen / NAND CAFÉ / レストランなんどき牧場 / ミコノスキッチン / モリタ宮田工業㈱
【行政】
茅ヶ崎市市民安全部防災対策課 / 茅ヶ崎市消防本部警防救命課 / 茅ヶ崎市都市部都市計画課 / 茅ヶ崎市都市部都市政策課 / 茅ヶ崎市都市部建築指導課
【協力】
アートケアひろば / オフィスパプリカ / ㈱K･B･S システム / 茅ヶ崎高校ボランティア同好会&OB / 茅ヶ崎市環境事業センター / 茅ヶ崎市子ども会連絡協議会&OB 有志 / 茅ヶ崎市総務部市民自治推進課 / 茅ヶ崎市ジュニア･リーダーズ･クラブ / BASF ジャパン㈱ / NPO 法人プラス・アーツ / NPO 法人もったいないジャパン / ㈱ライフサイクル / ㈲レントオール平塚 / ㈲ヤマガミ

模擬店・食品販売

～食べて買ってみんなでワイワイ！～

市民活動団体はじめ、学生団体、市内業者など合計 20 団体が参加。模擬店のメニューもラーメン、おでん、カレー、揚げ物、初出店のホットドッグ、スペアリブや甘酒、子ども向けのポップコーンや綿菓子などいろいろありました。食品販売ではドーナツや焼き菓子、ジャムや無農薬野菜など、来場者が多かったせいか、早々と売りきれる店も多くありました。今回出店の事業者からは、スタンプラリーの景品や市民活動げんき基金へのご寄付をいただきました。ありがとうございました！

体験　～作る楽しさと挑戦力を体験～

持久力、集中力などが養われるというボルダリングが初めて出現！ラグビー体験、輪投げなど、子どもたちが必死に頑張る姿に思わずこちらも手に力が入ってしまいました。またポニーの乗馬、おもちゃづくり、健康チェック、活動を子どもたちにもわかりやすく説明するためのクイズなど工夫を凝らした企画が盛りだくさん。
親子で楽しむ姿を見てほっこり！
どのブースも一日中賑わっていました。

物品販売　～活動資金に温かい応援を～

心に思いを持って活動し生まれた品々。恒例のタゲリ米が和菓子とコラボ。新商品が生まれています。愛情のこもった手づくりのアクセサリーや手芸品、フェアトレード品、木工品、東北に思いを寄せてチクチク作る「がんばりっこちゃん」、飛ばして竹とんぼ＆木に吊して遊べるぷるぷる忍者などたくさんの子どもたちの笑顔を見ることができました。また色々なジャンルの古本市、バザーなどどれもお値段が優しいのがうれしい！活動資金の一部になることを願いながら、お買い物袋もいっぱいに…。

▶参加団体の声

楽しかったこと・よかったこと・うれしかったこと

「多くの来場者の方々の歓声と拍手に包まれ、楽しく演奏することができた」
「商品を評価する言葉をいただき、ありがたかった」
「スタンプラリーのおかげで子どもたちとも気軽に話ができた」
「以前購入してくれた方とまたお会いできた」
「来場者が自分たちの活動に興味を持ってくれた」
「普段交流のない団体の皆さんとお話ができ、お互いに団体の存在を知ることができた」「近隣ブースの方々と仲良くなれた」
「ワイワイまつりを通してスタッフ同士の団結力が高まり参加してよかった」

困ったこと、課題と感じたこと

「天気が良すぎて地面が乾燥し、芝がほとんどない中央公園では砂埃が舞って大変だった。散水などの対策を考えたい」
「各ブースの位置が分かりづらかった。案内看板など工夫してはどうか」「受付の場所がわからない人が何人か来られた」
「車いすの方が飲食の行列に並びやすいような配慮が必要」
「スタンプラリーは、まつりの大きな楽しみ。無条件でスタンプを押すのがいいのかもしれないですね」
「まつりの実施ルールについて、団体内の情報共有が必要」
「他の団体のブースももっと見学できると良かった」
「サポセン会場が遠かったので、どうやって呼び込むのか課題」

★ サブ会場

ちがさき市民活動サポートセンター

～体験コーナーがたくさん～

1 週間前からサポセン館内を三角旗で飾り、館外にはのぼりを立て、本番に向けて雰囲気を盛り上げました。
壁面には、30 枚の子どもの絵画を展示。
創造力豊かな子ども達の絵が、いつもと違うサポセンを演出してくれました。

～８団体でサポセン会場を盛り上げました！～

今回の館内は、端から端まで体験コーナーでいっぱいです。オープンする前から開くのを外で待っていてくれたご家族や子どもたち。スタートから嬉しい光景でした。

手話体験や手話での絵本の読み聞かせ、点字体験、要約筆記体験、茶道体験、フラワーアレンジメントにマッサージ、かるたやコマ回し、昔ながらの遊びもの作りなど、見て・聴いて・触れて・学んで・遊んでのプログラム満載の会場となりました。参加団体のみなさんも、来場者と会話を楽しみながら交流ができ、日頃の活動も紹介できたと思います。手話通訳者・要約筆記者の皆さんにもご協力いただき、ありがとうございました。

～集合！スタンプラリー　ゴール地点！～

ガラガラポン！当たり玉の赤玉でるかな？！
景品がたくさんあり悩むお子さんたち。
交換所ではスタッフとの会話も弾みました。

参加したことで得られた成果は

「参加した子どもたちが社会と関わり、達成感や自己効力感が得られた」
「団体同士の絆が交流する中で得られた」
「まつりは地元の人たちに地元で活動する団体の存在を知ってもらえる貴重な機会になっている」「地域の人と交流できた」
「今後自分たちの活動に活かせるコネクションができた」
「(今後の活動のヒントになる）ニーズが聞けた」
「売上金で福祉施設での制作物を購入し参加賞にすることにより、施設のことを知ってもらえて施設への貢献もでき、福祉的活動にもつながった」

今後のまつりについて、サポセンへのメッセージ

「安心感があり、参加しやすいまつりが魅力です」「のんびりとして商業本位にならないところがよい」
「もう少し暖かい時期がよい」「開催時期は今のままでよい」
「開催するにあたり、様々な問題や課題があると思うが、参加団体がそれぞれに協力していくことで解消できれば一番いい」
「茅ヶ崎市域の市民活動を盛り上げるために、継続してまつりを実施してほしい」「他のイベントとのコラボも面白そう」
「大学生や若い世代のボランティアが参加することで、思いが次世代に引き継がれると思う。盛大に行うよりは地域のつながりを重視したおまつりにしたい」

《同時開催》イザ！カエルキャラバン！

＝小学生から体験できる防災プログラム＝

～おもちゃをもって全員集合！～

たくさんの子どもたちや家族連れで大賑わい！子どもたちは使わなくなったおもちゃを持ってきて、ポイントと交換。ポイントを集めて、自分の欲しいおもちゃと交換できるシステム。ポイントが足りないときは、水消火器や起震車、持ち出し品なぁにクイズや毛布担架、防災かるた、ロープワークなどの防災プログラムを体験して「ポイント券」をゲット。楽しみながら防災の知恵と技を学びました。繰り返し体験することや、親子で参加することで普段忘れがちな災害に対する備えが身近になり、「イザ！」何かが起こった時にも慌てない、構えができたのではないでしょうか。

ボランティア　～縁の下の力持ち～

まつり開催前から当日まで、55 名の方にお手伝いいただきました。

会場の飾りつけ、エンディングの時にステージで持つお花づくり、スタンプラリーの準備、ゆるキャラのサポート、来場者パンフレット準備、備品・土嚢の運び出し、会場・出店者テント設営解体、看板の取付、イザ！カエルキャラバン！運営補助、本部受付、写真撮影、エコステーション、スタンプラリー景品交換、清掃片付けなど、たくさんのボランティアさんに心より感謝。本当にありがとうございました。

エンディング　～♪世界に一つだけの花♪～

手に手にピンクの紙のお花（ボランティアの高校生が作ってくれました！）を持って集まった方たち。早くに出演したのに最後まで残ってくださったステージ参加者の方たち。フライングハンズの手話ダンスを中心に、テーマ「Let it go!」の思いをその花に寄せて歌いました。今年もオカリナ普及の会が歌詞の先読みをしてくださり、最後「ラ・ラ・ラ～♪」の部分では観客席も一緒に声を合わせ、今回のまつりも最高潮に達し終幕へむかいました。

自分らしくいられる“地元の”居場所

全国的に人口減少が進む中、茅ヶ崎市の人口は 24 万人に迫る勢いで、特に若い子育て世代の転入が増えているのが特徴です。海や里山など豊かな自然と温暖な気候、個性あふれるお店など、「ちょうどいい」暮らしやすさに魅せられて移り住んでくる人も多いと聞きます。新たに移り住んできた人、退職後の新たな人生を自分の住んでいる地域で始めようとする人、茅ヶ崎で生まれ、土地に根差した暮らしをし、地元をこよなく愛してきた人。そんな人たちにとって、「ワイワイまつり」は、茅ヶ崎が大好きで本気でまちをより良くしたいと活動している多様な人たちと出会い、まちの魅力を再発見する場になったことでしょう。参加団体からは「地元での活動を知ってもらうと同時に、住人の思いを受け止め、新たな活動や様々なつながりを築いていくきっかけとなった」という内容のふりかえりがいくつか寄せられました。今後も、市民活動と市民をつなぐ交流の機会を大切にしていきたいと思います。

もっと知りたい！サポセンのこと

『市民活動応援プログラム』～実施報告～

2017 年 2 月～3 月

切手寄贈プログラム

「さぽちゃんポスト」寄贈式 ＠ちがさきサポセン☆ワイワイまつり

★日時：2 月 26 日（日）12:45～12:55

「さぽちゃんポスト」は家庭に眠っている未使用切手をお預かりして、NPO（市民活動団体など）の情報発信を支援し、地域を元気にする仕組みです。

4 回目となる切手寄贈式。今年度は 12 団体に 57,000 円分を寄贈。今年の寄贈プログラムへの募集初日に申込みをされた「エルマー」の代表に登壇いただき寄贈しました。団体からは情報発信の充実、通信費の軽減、たくさんの人に情報を届けることができたなど、感謝の声をいただきました。

【寄贈を受けた市民活動団体】

エルマー、NPO 法人 WE２１ジャパンちがさき、NPO 法人湘南ふくしネットワークオンブズマン、湘南あゆみの会、小出川に親しむ会、NPO 法人茅ヶ崎ユニバーサルデザインスクエア地域活動支援センター楽庵、NPO 法人ウェルフェアポート湘南、アーバンデザインセンター・茅ヶ崎、茅ヶ崎市聴覚障害者協会、茅ヶ崎良い映画を観る会、認定 NPO 法人ゆい、つなぎの会茅ヶ崎

視察・研修受入／講師派遣

2/17　セカンドライフセミナー「市民活動について」
＠シルバー人材センター　10 名

2/21～25　茅ヶ崎市職員 NPO 派遣研修受入　1 名
（5 日間）

よる＝夜～寄る～縁る～
人が出会い、つながり、生まれ、始めるきっかけづくりとなる交流の場

【第 13 回よるカフェ　団体企画】

3.11 東日本大震災あれから 6 年
震度 7・津波・地震災害
その時何が生死を分けたのか？

今日かもしれない～映像・データで、学ぶ、知る、考える。

日　時：3/11 (土)14：00～16：00
場　所：ちがさき市民活動サポートセンター
参加者：26 名
講　師：内野　義生さん
（防災スイッチオン！プロジェクト代表・茅ヶ崎市防災リーダー）

早いもので東日本大震災から 6 年。今回講師の内野さんは、防災リーダーの他、映画上映や防災ママカフェ、高校生への授業などを通して、防災の大切さを多くの人に広めるために活動中です。この日は黙とうから始まり、現地陸前高田の現状や津波の記録映像の紹介、今後、津波で命を落とさないためにはどうしたら良いかなど意見を出し合いました。また地震災害の対策として、災害予想速報（Yahoo!防災速報など）のスマホへのダウンロード、家屋では感電ブレーカーや転倒防止グッズの設置が重要であること、そして神戸大震災の経験から、通電火災の恐ろしさを、映像を見ながら学びました。会場には防災グッズや各種パンフも展示され、休憩時間にはシンガーソングライターの藤原千春さんの歌で、和やかなひと時となりました。

参加者のアンケート結果では、満足度も高く、このような体験型講座をまた開催してほしいとの意見が多く聞かれました。

2016 年度 ちがさき市民活動サポートセンター 利用状況（2/28 現在）

●利用者数　開館日数　314.3 日

館内利用者数　：25,875 人（平均 82.3 人/日）／館外利用者数*：8,283 人

＊他の公共施設・会場で実施した主な主催事業

市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会＠市役所 / 地域の居場所づくり交流会＠市役所 / ばりあふりーカフェ＠市民ふれあいプラザ / ユースボランティア茅ヶ崎オリエンテーション＠社協 / ボランティア塾 in 鶴嶺高校 / 講師派遣（ボランティア大学、セカンドライフセミナーほか）/ ちがさきサポセン☆ワイワイまつり＠中央公園

●問合せ・相談件数

市民、市民活動団体、企業等からの問合せ・相談総数：313 件

OTHER NEWS

サポセンイメージ 1分アンケート結果報告

1月に館内とHP上で行ったアンケートの結果は次のとおり。

Q1 サポセンの今をイメージすると？
①気軽な②親しみのある③多様性のある

Q2 これからのサポセンがどんなふうになってほしいか、そのイメージは？
①活動的②信頼感のある③明るい

Q3 サポセンのイメージカラーは？
①グリーン②オレンジ③レインボー

ご協力ありがとうございました！

４月１日 ホームページ リニューアル！

イメージ１分アンケート結果も参考に、新しいロゴも作成。これまでのイメージから一新！スマホにも対応し、より見やすく、便利に、スタイリッシュなサイトに生まれ変わります。
SNS とも連動した情報発信を目指します。いいなと思う記事はみんなでシェアして一緒に茅ヶ崎の市民活動を盛り上げていきましょう！

ちがさきサポセンで検索！

市民活動団体データベース登録

これから活動を始める人のきっかけづくりや、市民活動団体の広報力アップ、団体間のネットワークづくりに役立てていただくために、データベース登録をもとに団体情報を冊子や HP で公開中。

登録情報の更新案内は４月末から５月初旬に登録団体へ郵送予定ですが、新たに HP を開設した、Facebook やブログを始めた団体は、サポセン HP にリンク表示できますので、ご一報ください。

新規登録は、随時受付けています。

＜予告＞ 第14回かながわイーパーツ リユース PC 寄贈プログラム

情報化や組織の基盤強化に力を入れて取り組みたいと考えている市民活動団体に、企業提供のリユース PC を寄贈するプログラム。（認定 NPO 法人イーパーツ共催）

募集期間：4/10(月)～6/30(金)
寄 贈 式：8/26(土)@茅ヶ崎
詳細は、4/10 以降サポセン HP にて。

＜募集＞茅ヶ崎市 提案型民間活用制度 自由提案型提案 募集！

みなさんのアイディアを
市の事業に生かしませんか？

市が実施する全事務事業を対象に、市民サービス向上のため民間のアイディアやノウハウを活用する委託化提案を募集。
・提案できる人：民間団体･事業者･個人
・事前確認期間：4/3～5/15
*担当課による内容確認･ヒアリング(必須)
・提案募集期間：5/1～5/31
募集要項、事務事業リストなど詳細は、市 HP にて。問企画経営課行政改革担当

2017 年度からのサポセンの指定管理者は、引き続き認定 NPO 法人 NPO サポートちがさきが担います

誰もが自分らしく安心して暮らせる地域や社会になるように、市民の力や思いをカタチにするパートナーとして、情報発信の強化、市民活動の新たな担い手の発掘・応援、NPO と地域・企業・行政・大学等との協働を推進していきます。
利用者視点にたったサービスの更なる向上に努めてまいりますので、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

指定期間：
2017 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

ABOUT US

▶ちがさき市民活動サポートセンターとは

市民活動団体や NPO、ボランティアなど、
非営利で公益的な活動をしている人たちや
これから活動しようと考えている人たちの拠点施設です。

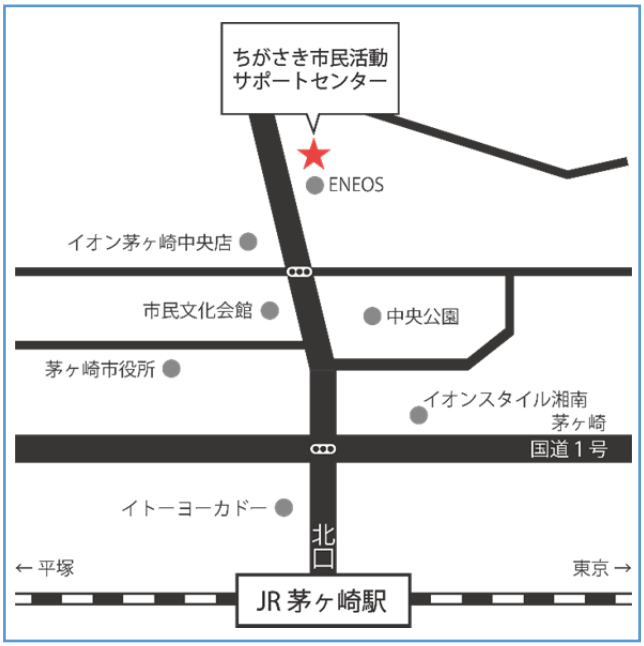
▶開 館 時 間　9：３０～２１：３０

▶休　館　日　毎月第３水曜日、年末年始（12/28～1/3）

▶ア ク セ ス　JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩１０分程度
駐車場１４台　障がい者用駐車場１台
駐輪場あり

▶連　絡　先　〒253-0041　神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7
TEL/FAX:　0467-88-7546
E メ ー ル：　s-center@pluto.plala.or.jp
ホームページ:　http://sapocen.net/

▶指定管理者　認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき
（　2016 年 9 月 21 日付で神奈川県より認定を受けました　）
(指定管理期間：2013 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)



さぽせんニューズレター　VOL.52（2017 年 3 月 28 日発行）
編集・発行　認定特定非営利活動法人　ＮＰＯサポートちがさき　発行責任者　益永律子